

茨城県衛生研究所における病原体検出情報

— 2013年 9月号 —

1. 検出状況(9月1日～9月30日)

〈茨城県感染症発生動向調査事業に基づく試験検査〉

1) 散发事例

(件数:人)

臨床診断名	検出ウイルス	水戸	ひたちなか	常陸大宮	日立	鉾田	潮来	竜ヶ崎	土浦	つくば	筑西	常総	古河	合計
		ウイルス	急性脳炎・脳症	1										
	エンテロウイルス属		1											1

急性脳炎・脳症 アデノウイルス:0歳女児の咽頭ぬぐい液から検出
 エンテロウイルス属:1歳男児の血液から検出

2) 病原体定点依頼検査(小 小児科定点、 イ:インフルエンザ定点、 眼:眼科定点、 基:基幹定点)

(件数:人)

臨床診断名	検出ウイルス	水戸	ひたちなか	常陸大宮	日立	鉾田	潮来	竜ヶ崎	土浦	つくば	筑西	常総	古河	合計
		ウイルス	基 無菌性髄膜炎					1		1	2			

無菌性髄膜炎 エンテロウイルス属:0歳男児の血液、咽頭ぬぐい液、糞便から検出
 0歳男児の髄液、血液、咽頭ぬぐい液、糞便から検出
 0歳女児の髄液、血液、咽頭ぬぐい液、糞便から検出
 0歳男児の糞便から検出
 60代女性の髄液、血液から検出

月別検出件数の【補足情報(ウイルス)】

- ・急性脳炎・脳症
7月に検出されたエンテロウイルス属のうち、新たに1件がエコーウイルス25型であることが判明した
- ・手足口病
7月に検出されたエンテロウイルス属のうち、新たに6件がコクサッキーウイルスA6型であることが判明した
- ・咽頭結膜熱
8月に検出されたアデノウイルスはアデノウイルス4型であった
- ・無菌性髄膜炎
7月に検出されたエンテロウイルス属のうち、型別が判明したものはコクサッキーウイルスA6型、コクサッキーウイルスB3型が各1件であった
- ・急性呼吸器感染症
8月に検出されたRSウイルスは2件ともRSウイルスA型であった

ロタウイルスの遺伝子型別の実施結果

○ロタウイルスってなに？

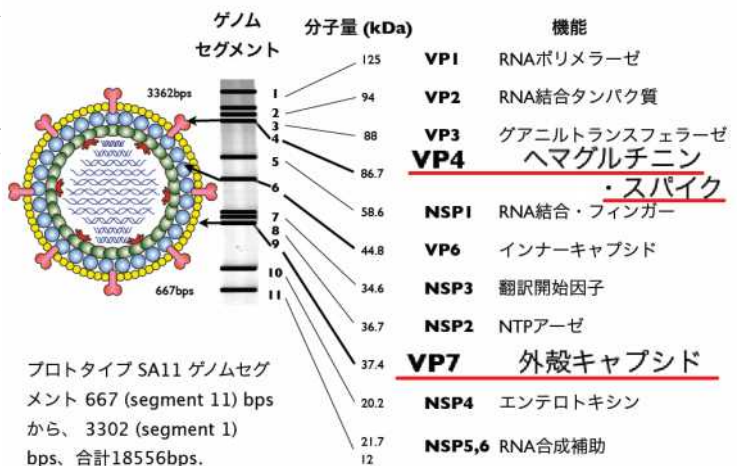
ロタウイルスは非常に感染力の強いウイルスで、6ヶ月～2歳くらいの小児を中心に重度の下痢を発症することで知られています。冬から春にかけての時期に流行し、乳幼児の急性下痢症の8割以上を占め、感染すると大人も発症します。ロタウイルスの中で、ヒトに病原性を示すものはA群とC群に大別されます。

多量の水のような下痢便が出て、便の色が白っぽくなることから白色便性下痢、激しい嘔吐を伴うこともあるため嘔吐下痢症、小児仮性コレラ、白痢などとも呼ばれています。

○ロタウイルスの遺伝子型別ってなに？

A群ロタウイルスは、右図のVP4,VP7の2種類の外殻蛋白をコードする遺伝子配列を解析することにより、遺伝子型がわかります。遺伝子型は多数存在しますが、世界中で検出されるロタウイルス野外株の大部分は5種類(G1P[8], G2P[4], G3P[8], G4P[8], G9P[8])で占められます。

図. ロタウイルス粒子構造とゲノム構造



IASR
Infectious Agents Research Report

IASR より引用

○ロタウイルスのワクチンがあります

最近、乳幼児のロタウイルス感染による重症例(脳炎など)を防止するためにワクチンが発売されました。国内で流通しているワクチンはロタリックス(G1P[8]を含む)とロタテック(G1,G2,G3,G4,P[8]を含む)の2種類があり含まれている抗原が異なります。どちらもロタウイルスの一般的な型に効果があると報告があります。

○遺伝子型別結果

今年、県内で流行が見られた時期に、茨城県内の小児科定点医療機関から寄せられたA群ロタウイルス散発例(医療機関において簡易迅速診断キットで陽性を確認)の検体から、遺伝子型別を実施して集計した結果です。

	G1P[8]	G2P[4]	合計
2013年2月	4	1	5
2013年3月	8		8
2013年4月	2		2
2013年5月	5		5
合計	19	1	20

このシーズンの流行はG1P[8]とG2P[4]であったと考えられます。2種類のロタウイルスワクチンはどちらも有効であったと思われます。